

発行：福岡地区労働組合総連合
〒810-0041
福岡市中央区大名 2-2-51
第一吉田ビル
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

2025
8月号

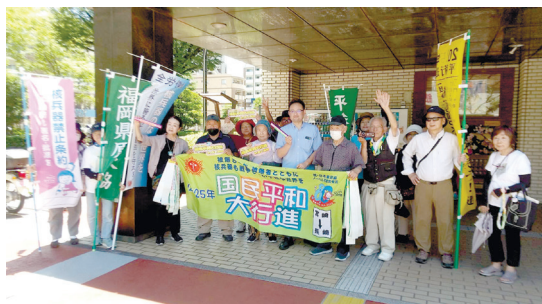
福岡地区労連

〈国民平和一大行進2025〉

戦後80年 核のない平和な社会をめざして



新宮町役場



西区役場



早良区役場



城南区役場



周船寺駅



南区役場



フランスから平和マラソンに参加



中央区役所



香椎・御幸橋

国民平和一大行進は、7月22日から7月25日の四日間、福岡市内をめぐる行進活動。今年は福岡市実行委員会に引き継がれる前から猛暑が予想され、熱中症アラートが発令された場合は、安全のため行進を中止すると実行委員会が決まっていた。新宮町から福岡市への引継ぎ式から熱中症アラートが連日発令され、行進は行わず宣伝カーによる核兵器をなくすための宣伝行動に切り替えて各ポイントの集会場所へリレーをつなぎました。

一歩でも二歩でもみんなと一緒に歩こう

平和一大行進は一歩でも二歩でもみんなと一緒に歩こう。平和マラソンも駆け抜けました。毎年恒例の平和マラソンが8月6日、8時15分の黙とうを行って広島をスタートしました。平和マラソン実行委員会は、戦後80年の節目の年として、フランスから多くの青年ランナーを招待し長崎を目標しました。世界の青年たちに核兵器の悲惨さを知ってもらい、スポーツを通して平和の広がりが期待されています。

行進途中に九州電力本社、陸上自衛隊春日駐屯地に訪問し核兵器非絶、原発停止などを求めた要請書を手渡しました。アメリカ領事館は面会も受け取りも拒否しています。福岡市の平和行進には述べ456人の方が参加しました。

平和マラソンも駆け抜けました

（編集委員 内田）

〈原水爆禁止2025年世界大会in長崎〉 若い世代も含めた平和運動の継続と拡大を

8月9日、原水爆禁止2025年世界大会が、長崎市民会館体育館にて開催されました。原子爆弾投下から80年目の節目でもあ



長崎市民会館体育館に3200人が結集

り、全国各地から3200人が結集しました。また、世界各国からの代表者も参加し、核兵器禁止条約の重要性や平和運動の推進について議論されました。冒頭で参加国の紹介を行い、韓国、イギリス、スウェーデン、スペイン、ポルトガル、アメリカなど多くの国からの代表者が出席していることが報告されました。

富田宏治「国際会議宣言」起草案委員長が国際会議宣言の紹介を行いました。この宣言では、1945年8月9日に長崎に投下された原子爆弾の悲劇から始まり、核兵器の脅威と廃絶の必要性について強調されました。宣言では、核兵器禁止条約への参加を各国に促し、平和で公正な世界の実現を目指す内容が盛り込まれていました。会議では、被爆者の証言の重要性や、次世代への継承の必要性についても議論されました。日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准していない現状に対する批判も表明され、唯一の戦争被爆国として日本が果たすべき役割についても言及されました。

また、国際的な平和運動の連帯や、ウクライナ問題、パレスチナ問題など現在の国際紛争についても触れられ、対話と交渉による平和的解決の重要性が強調されました。海外からの参加者からは、平和運動への参加経験や日本への敬意が表明され、若い世代も含めた平和運動の継続と拡大の必要性が訴えられました。会議の最後には、核兵器のない世界を実現するための決意が参加者全員で共有され、連帯の拍手で締めくくられました。

(編集委員 松尾)

〈佐賀空港オスプレイ配備反対集会〉 国側は漁業補償契約の存在を明らかに

8月8日、佐賀空港自衛隊駐屯地建設工事差し止め訴訟第7回口頭弁論が行われました。報告集会では、裁判の進捗状況と今後の方針について議論されました。弁護団は国に對



裁判の現状を説明する東島弁護士

存在しないという国の主張に対する反論書面を提出する方針を示しました。池上弁護士からは、漁業補償の経緯について補足説明がありました。国は漁業

補償として漁協に土地を渡したと主張していますが、通常、漁業補償は現金で行われるものであり、新聞記事にも漁協に対して数千万円が渡ったという記録があります。土地は漁民の生活再建のために個別に与えられたものであり、漁民に所有権があるはずだという主張を貫徹するために、当時の漁業補償契約の存在を明らかにする必要があると強調しました。

(編集委員 松尾)

〈2025参議院選挙をどう見るか〉 選挙に行けば何かが変わる

7月に行われた参議院選挙は大きな変化をもたらしました。自公政権を衆参過半数割れに追い込み少数与党となったことで、今後の政権運営はやりた

一足飛びに政権が変わることは厳しいとの評価が多くを占めています。

与党は自公66議席から47議席まで激減しました。野党は第一党の立憲民主党が議席数横ばい。れいわ新選組は1議席増にとどまり、共産党は4議席減。社民党は1議席を守りま

席増やしたものの得票数を大幅に激減させて共同代表が辞任しました。

議席を大幅に増やしたのは自公政権と予算を通してきた国民民主党と日本人ファーストを主張してきた参政党です。政党の方針に外国人差別、排外主義、右翼的潮流を掲げて議席を大幅に伸ばした結果は重大な問題と言われていると思います。排外主義に陥る根本には、国民

の暮らしが息づまって政治への閉塞感が指摘されており、暮らしたに展望を持てる政策転換が重要となります。そのためには最低賃金を今すぐ1500円に引き上げ、消費税を早急に5%に引き下げ、インボイス制度を中止することは不可欠です。国民は選挙に行けば何かが変わる実感を持てた参議院選挙だったのではないでしょう

か。

(編集委員 内田)

戦後80年特別企画
大衆演劇公演
笑いごとではありませぬ!
朱海青=脚本 鶴山仁=演出
笑いとは涙で描く
はなし家たちの青春譚!
2025年 9月10日(水) 開場/18:00 開演/18:30
会場: SAWARAPIA 福岡県立ももち文化センター大ホール
(旧ももちバリス) (住所: 福岡市早良区百道2丁目3-15)
【全席自由】
前売り: 一般¥5,000/学生¥3,000(18歳まで) 当日: 一般¥5,500/学生¥3,500(18歳まで)
【対象年齢】 小学校高学年以上~ 【主催】 笑いごとではありませぬ! 実行委員会

今後のスケジュール

●福岡地区労連
評議員会
9月19日(金) 18:00~

千鳥ビル2階
大会議室

●第36回福岡地区労連
定期大会
10月19日(日) 10:00~17:00

リファレンス
大博多ビル